

デザイン工学部 環境理工学科

【教育目標】

環境理工学科は、教育研究上の目的を達成するために、以下の教育目標を掲げます。

1. 基礎理学を踏まえた環境学を学び、現代において多様化する環境問題の課題解決に貢献する能力を養う。
 - (ア) 実践科目と理論科目をバランス良く配置することによって、生物学、物理学および化学といった自然科学分野に立脚した環境問題解決型の行動力あふれる人材を育成する。
 - (イ) みどり豊かな地域環境と健全な生態系の保全、さらには人間と地球にやさしいエコライフの実現に向けて、自然と共生する持続可能な社会をデザインするために、グローバルな環境問題からローカルな環境問題の解決を考えることができる。
 - (ウ) 科学技術による水、大気および土壌の環境保全・環境改善、地球環境科学の究明、生物多様性と健全な生態系の保全、持続可能な社会のしくみづくりを考究する能力を養う。
2. 工学および理学に立脚した環境学の体系を総合的に探求する。
 - (ア) フィールド活動および実験を積極的にカリキュラムに配置し、自然科学の基礎研究に立脚しながら、学部が掲げるシステム・空間・環境を含む広義の「モノ」づくりのために、課題解決にむけた行動力を養う。
 - (イ) 環境マネジメント力を発揮し、実践的な環境技能を養成する。
3. 人間力に卓越する環境リーダーを育成する。
 - (ア) 専門知識・技能・態度などを総合的に活用し、他者と協調・協働して行動できる。
 - (イ) 地域の特性を理解し、社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与する基礎的能力を養う。
 - (ウ) 地域から地球レベルまでの環境問題を統合的にとらえ、広く社会に貢献できる能力を養う。

【ディプロマ・ポリシー】

環境理工学科では、現代社会が必要とする環境学の体系を修得し、環境に対する高い専門性と柔軟な思考力を有する人材を育成するという教育目標に基づき、以下の知識・能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（理工学）の学位を授与します。

1. 知識・理解
 - ・環境に関わる基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と背景となる歴史・社会・自然と関連づけて理解する。
 - ・環境理工学の専門的知識を理解する。
2. 汎用的技能
 - ・知的活動、職業生活および社会生活でも必要なコミュニケーション能力
 - ・ICT活用能力
 - ・情報や知識を複眼的・論理的に分析・表現できる思考力
 - ・問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決する能力と行動力
3. 態度・志向性
 - ・他者と協力して、行動するとともに、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員するチームワークとリーダーシップを培う
4. 統合的な学習と創造的思考力
 - ・獲得した知識・技能・態度などを総合的に活用し、地域および地球の課題を解決する能力
 - ・自然を解き明かし、サイエンスを探求する知識・技能・態度

【カリキュラム・ポリシー】

環境理工学科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識・技能・態度・問題解決能力および人間力を育むという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. 環境理工学科の教育課程は、初年次科目として、本学科の専門性を明確にする「フィールド教育科目」、少人数ゼミによる社会人基礎力とキャリア形成につなげる「実践教育科目」を位置づけるとともに、一般教養を学ぶ「総合教育科目」、専門的知識や技術を学ぶ「専門教育科目」を段階的にバランス良く学ぶことで、「環境技術」「地域生態系」「環境緑化」「環境計画」という4つの分野に関する

る高い専門性を身につけます。

2. 全学年を通じて就職力や社会人としての能力の育成を意識した科目・資格講座を提供し、キャリア教育を実施します。
3. 高等学校教諭一種免許状（理科）および中学校教諭一種免許状（理科）の取得に向けて、実験およびフィールドワークの能力に優れた、レベルの高い教員養成のための教育を遂行します。
4. 自然環境の科学的理解を図る理学と、個別具体的な環境問題の解決を目指す工学の融合を目指す教育を行います。そのために教育理念に照らし合わせたカリキュラムは、現場（地域やフィールド）での「実践」を教育の柱の一つとしています。
5. 次代を担う科学技術系人材を育成する本学科の特性を活かして、実験およびフィールドワークの能力に優れた高校および中学校の理科教員を養成します。
6. 各科目の配当年次は、次の通りです。
 - ・1年次では、「総合教育科目」を中心に、「専門教育科目」のなかの基盤科目、「フィールド教育科目」および「実践教育科目」などを履修し、基礎学力を身につけるとともに、キャリアを見据えた実践的な科目を履修します。さらに実験および講義を含む「教職科目」もスタートします。
 - ・2年次では、「専門教育科目」の「基盤科目」に加えて「発展科目」および「演習」を学び、専門性と実践力を学びます。
 - ・3年次では、「環境技術」、「地域生態系」、「環境緑化」および「環境計画」の4つのコースにわかれ、「専門教育科目」の多くの科目を履修します。「プレ卒研」で研究室配属によって、さらに専門的な知識と理解を深め、自ら、課題解決する能力を培います。
 - ・4年次では、少人数ゼミの「卒業研究」によって自らの知的探究心を発展させます。大学の専攻に関する集大成の1年とします。

なお資格に関しては、高等教育教諭一種免許状（理科）および中学校教諭一種免許状（理科）の取得をはじめ、複数の資格取得に対応した教育課程を編成しています。

【アドミッション・ポリシー】

環境理工学科では、理学と工学に立脚した学問分野に興味をもち、その分野の柔軟な思考力、高い専門性および技術を用いて社会に貢献する人材を育成するため、つぎのような学生を求めます。

(求める学生像)

1. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (1)高等学校までに学んだ教科・科目について、教科書レベルの基本的な知識・技能を身につけている。
2. サイエンスとテクノロジーに対する高い興味と柔軟な思考力
 - (1)地球規模から地域レベルの身近な暮らしまで、さまざまな環境問題に高い関心を有している。
 - (2)環境に関するさまざまな課題に向き合い、自然科学の探求および環境保全に意欲を有している。
3. 主体的に課題にとりくむ態度と社会性
 - (1)フィールド(地域)で実践的に行動し、環境問題を解決することによる社会貢献をめざしている。

(選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型 選抜		学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜		編入学
	A O	ク ラ ブ	指 定 校 推 薦	特 別 推 薦 (系 列 校)	公 募 推 薦	一 般 ※ 1	利 用 ・ 通 テ ス ト 大 学 入 学 共 用 プ ラ ス 方 式	特 別 等 資 格 取 得 者 ※ 2	社 会 人 、 留 学 生 ※ 3	
1-(1)	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○
2-(1)	◎	◎	○	○				◎	○	◎
2-(2)	◎	◎	○	○				◎	○	◎
3-(1)	○	○	○	○				○	○	◎

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力利用入試があります。

改 正 2021年4月28日